



# さわやかに しなやかに

～SEISHO PRIDE～

【自立】さわやか挨拶・自ら進んで学習

【貢献】活力ある生徒会活動・いじめ根絶

【創造】響き合う合唱・成長し合える仲間



(青翔中学校 HP)



## 授業探訪 ～佐藤教諭

10月31日(月)に校内研究会を実施しました。校内研究会は、学校課題の解決に向けた授業の在り方を協議・確認することを目的に実施します。今年度は「情報を活用する力の育成」「タブレットの効果的な活用」をテーマに、佐藤教諭が数学科や研究及び学力向上担当教諭と検討を重ね授業案を作成し、その授業を全教員で参観しました。その様子をレポートします。

### ①テーマ1：情報を活用する力の育成

学習する単元は関数。「表」「グラフ」「式」で表現された関数について、同じものを見つけ、その理由を説明することを目的とした授業でした。それまでの「表」「グラフ」「式」についての学習内容を活用(思考・判断)し、説明(表現)することに、生徒は取り組みました。

### ②テーマ2：タブレットの効果的な活用

「テーマ1」の達成に向けて、パドレットというアプリを活用しました。まずは既習事項の確認。これまでの板書や学習事項をパドレットで共有し、それぞれ必要な情報にアクセスできるようにしました。また、個人で考えた説明もパドレットで共有し、生徒は仲間の考えを参考とし、佐藤先生は1人1人の学習の様子をモニターしていました。

### ③成果と課題

**成果** 自分なりにクラスメイトの意見を参考にしながら説明し合う姿が見られました。タブレットを使うことで多様な考え方に触れることができ、いつも以上に意欲的に学習課題の解決に取り組んでくれました。



タブレットで必要な情報にアクセスしながら課題に取り組む生徒

**課題(改善点)** タブレットをより身近に使っていきながら、まずは教師自身が「情報活用能力」を高める必要があります。また、既習事項を活用することの意義を伝え、一つ一つの知識をつなぎあわせる手立てを工夫することの重要性を再認識しました。

□ ■ □

研究授業を担当するのは、とても大変なことです。佐藤先生は、自身の授業力を向上させる好機と前向きに取り組み、積極的に研修会にも参加し、この授業をつくりました。生徒の皆さんも主体的に授業に参画してくれたことで、数学担当の先生や道教委・市教委の指導主事(先生の先生)の方々からも多くのお褒めの言葉と今後に向けてアドバイスをいただきました。佐藤先生&1年7組の生徒の皆さん、お疲れさまでした。

□ ■ □

最後に、佐藤先生が毎日の授業づくりで大切にしていることを聞いてみました。

私は授業において「生徒の学習を支える『つなぎ』になれば」と思い、教壇に立っています。その上で、「生徒を『つなげる』」ことを第一に考えています。私の説明時間を減らすため、授業中に「細かく・短く・何度も」交流・共有の時間を取り入れています。また、数学では結果に至るまでの過程が重要と捉え、授業において可能な限り様々な考え方を取り上げ、それらの考え方の共有をもとに自分の考えを「深める・肉付けする」ことを目指しています。



### いじめの根絶を目指して

「いじめをしない・させない・許さない」⇒今年度、生徒会が策定した「いじめ根絶宣言」です。青翔中では教員の指導とともに、生徒の主体的な行動を両輪として、いじめの撲滅を目指しています。2面に、「学校におけるいじめ」の基本的考え方や、今年度の認知件数を掲載しました。確認をお願いします。

□大会結果

- 第 17 回北海道小・中・高生短歌コンテスト…□□□□「入選」
- 第 50 回中学生作文コンクール…□□□□「北海道知事賞」  
□□□□、□□□□、□□□□「優秀賞」
- サッカー部…市中学校秋季大会＝優勝  
全道 U-15 フットサル選手権大会苫小牧地区予選＝第 3 位
- 男女卓球部…北海道中学選抜卓球大会支部予選会＝女子団体準優勝、男子団体第 3 位※男女とも全道大会へ
- 男女バレーボール部…胆振日中学校バレーボール大会＝男子優勝、女子第 3 位
- アイスホッケー部…東胆振中学校体育大会＝第 3 位※全道大会へ

～青翔中学校におけるいじめ問題への対応について～

文部科学省が全国の小中高校などを対象に実施した令和 3 年度の問題行動・不登校調査の結果が先月 27 日公表され、いじめ認知件数が 6 万 5 千 3 百 5 1 件と前年度比 9 万 8 千 1 百 8 8 件増で過去最多を記録したことがわかりました。いじめはどこ学校でも、どの子どもにも起こりうる問題であることを改めて示す件数となっています。

いじめに対峙していくための基本的な理念等について示した『いじめ防止対策推進法』では、「いじめとは、児童等に対して、当該児童等が在籍している等当該児童等と一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。」という言葉で表されています。つまり、いじめられた児童生徒の立場に立ち、対応していくことが強く求められています。本校でも「いじめ防止基本方針」（※HPに掲載）を定めるとともに、いじめ不登校対策委員会を設置し、組織的な対応に努めています。

青翔中学校の 11 月末現在のいじめ認知件数は 32 件です。

本校では、定期的に行っているアンケートだけでなく、「いじめ」という言葉を使わずに指導した事例でも、被害生徒が「嫌な思い」や「苦痛」を感じたものは、その背景を対策委員会で検証し、定義にあてはまるものはいじめと認知するようにしています（認知したものは、最低 3 か月間見守りを継続）。認知（＝対処）件数の多いことは、生徒を守るためにいじめ問題に向き合っている証しととらえ、今後も積極的な認知に努めていきます。どうぞご理解ください。

主な行事



3 日（土）市中学生主張発表大会	19 日（月）いじめ防止について考える日
市中体連秋季剣道大会	拓勇東町内会資源回収
9 日（金）眼科検診	20 日（火）拓勇西町内会資源回収
10 日（土）全道中学校アイスホッケー大会（～12 日）	22 日（木）通知表配付
11 日（日）新開明野町内会資源回収	23 日（金）終業式
12 日（月）KDDI スマホ・ケータイ安全教室	24 日（土）冬季休業（～1 月 15 日）
13 日（火）1・2 年二者懇談（～14 日）	29 日（木）学校閉庁日（～1 月 4 日）

保護者アンケートの実施について

本校では、教育活動の充実のために、毎年、保護者の皆様にアンケートへの回答をお願いします。本年度のアンケートは、12 月 9 日に「さくら連絡網」にて配信し、12 月 16 日までにメールでの回答をお願いする予定です。ご協力のほど、お願いいたします。